

レーザープリンター対応伝票

注意事項

ミシン目用紙への印刷につきましてはサポート外の用紙である為、お客様に事前に通紙評価をしていただき、お客様のご判断の元でご使用いただく必要があります。

また、ミシン目が加工されている特殊用紙につきましては、下記の障害発生率が普通紙使用時より高くなる可能性が有ることを予めご理解頂けますようお願いいたします。

ピックミス

重送

斜行

紙詰まり

EP カートリッジドラムへの物理的損傷

通紙評価で確認した用紙の品質保証についても、通紙評価時と同等の一定品質の用紙供給が得られる様に、用紙メーカーに要求してください。

本内容の対象のプリンタは、NEC 製レーザープリンタ MW4550・MW3650N・MW2850/N・MW2360/N・MW2130 です。導入時に他のプリンタになりました場合は別途ご相談願います。

1.用紙連量について

下記に、乾式PPC用紙坪量 64g/m² (連量 55Kg)と、坪量 81.4g/m² (連量 70Kg)の紙質特性値を記載致します。

* ミシン目により用紙の腰が弱くなりますので、坪量 81.4g/m²(連量 70Kg)相当の用紙をお勧めいたします。

・乾式 PPC 用紙坪量 64g/m² (連量 55Kg)

1. 坪量	64 ~ 67g/m ²	JIS P8124
2. 紙厚	0.085 ~ 0.092 mm	JIS P8118
3. 平滑度	25 ~ 50sec	JIS P8119
4. 剛度	60 cm ³ /100 以上	クラーク式:JIS P8143
5. 表面固有抵抗	1 × 10 ⁹ ~ 1 × 10 ¹²	
6. 水分率	4.5 ~ 5.5%	JIS P8127

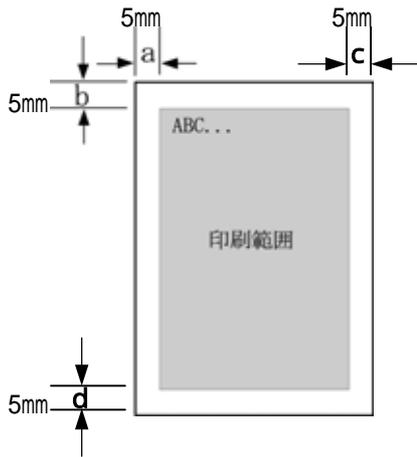
・坪量 81.4g/m²(連量 70kg)用紙の紙質特性値一例

1. 坪量	80 ~ 84g/m ²	JIS P8124
2. 紙厚	0.096 ~ 0.104 mm	JIS P8118
3. 平滑度	51 ~ 81sec	JIS P8119
4. 剛度	225 mg	ガーレ式(参考値)
5. 表面固有抵抗	1 × 10 ⁹ ~ 1 × 10 ¹²	

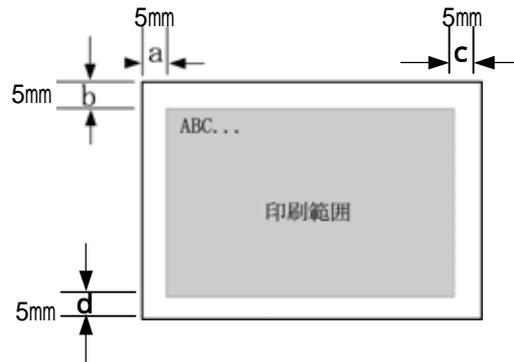
2.印刷範囲について

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により異なる場合があります。

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量(a ~ d)をすべて約5mm に設定できます。



ポートレート



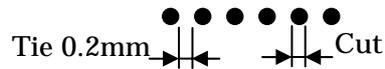
ランドスケープ

3. ミシン目用紙への印刷について

1. ミシン目用紙の注意点

- (1) 用紙の引き裂き強度確保や用紙の腰を弱くしない為に、ミシン目は、マイクロミシン目又は、ミニピッチミシン目をお使い下さい。

・マイクロミシン目 : Tie 0.2mm、Cut 0.2mm



・ミニピッチミシン目 : Tie 0.9mm、Cut 0.5mm

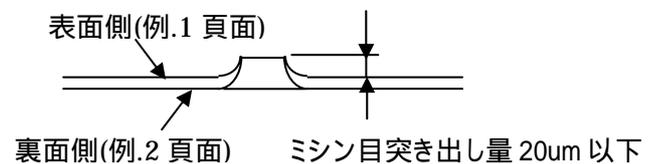


- (2) ミシン目の突き出し量は、用紙の重送等に影響します。また、ミシン目用紙を継続使用されると、ドラムの傷等が懸念されますのでご注意願います。ミシン目の突き出し量は、20um 以下になるよう管理してください。また、ミシン目の突き出し方向が下記の方向になる様に用紙をセットしてください。

片面印刷の場合：印刷裏面への突き出し

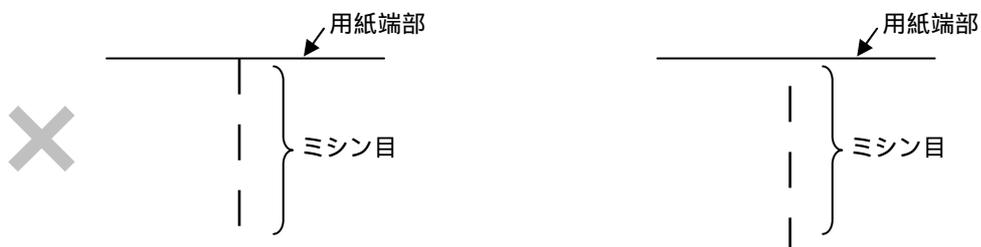


両面印刷の場合(*)：両面印刷時の表面への突き出し

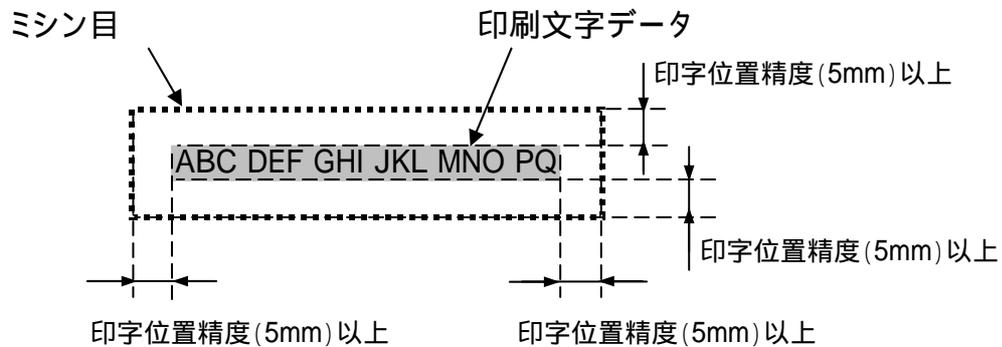


*両面印刷の対応については機種によって異なります。

- (3) ミシン目の Cut 部分が、用紙端部に掛からない様にしてください。

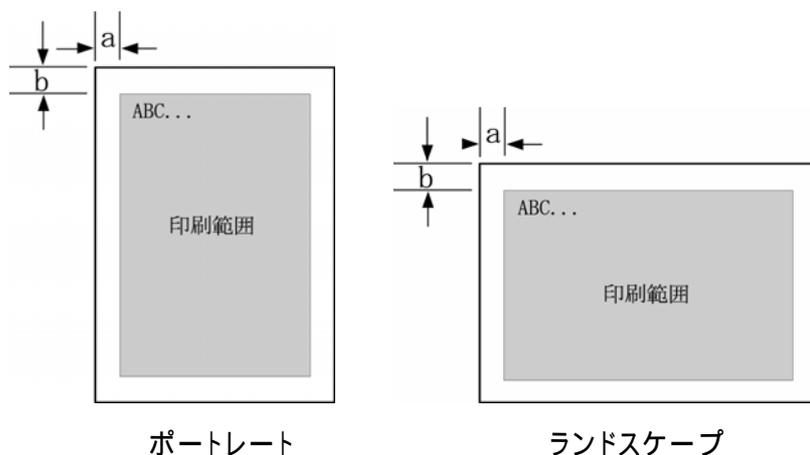


- (4) ミシン目周囲から 5mm の範囲には印刷を行わないようにしてください。
 なお、ミシン目からの印刷の寸法は、印字位置精度を考慮し設計してください。
 (印字位置精度については次頁「2.印字位置精度について」を参照してください。)



- (5) 保管に関しては、通常用紙に比べ特殊用紙は湿度の影響を受けやすい為、密封状態で、かつ、常温・常湿での保管をして頂くよう、お願いいたします。

2. 印字位置精度について



印字位置精度 $a \pm 2.5\text{mm}$ 、 $b \pm 2.5\text{mm}$

印刷範囲左上部の書き出し位置(印字位置)は以下の要因により**最大** $\pm 2.5\text{mm}$ ずれる場合があります。

要因

装置要因の他に、次のような用紙の特性に影響される場合があります。

- ・ 坪量
- ・ 紙厚
- ・ 平滑度
- ・ 剛度
- ・ 表面電気抵抗
- ・ 繊維目方向

プレ印刷を行う場合もミシン目と同様に印字位置精度を考慮して設計してください。

4.使用できる用紙についての注意事項

- ・ はがき、往復はがき、封筒、OHP フィルム、およびラベル紙の印刷品質及び印字位置精度は、規格を満たす普通紙の印刷品質及び印字位置精度より劣る場合があります。
- ・ 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。サポート部門へお問い合わせください。
- ・ 定形外サイズの内紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷を行って印刷動作を確認されることをお勧めします。対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定型用紙に比べ扱える範囲がせまくなる場合があります。
- ・ プレ印刷用紙のベースとなる用紙は、「用紙の規格」に合致するものを使用してください。